

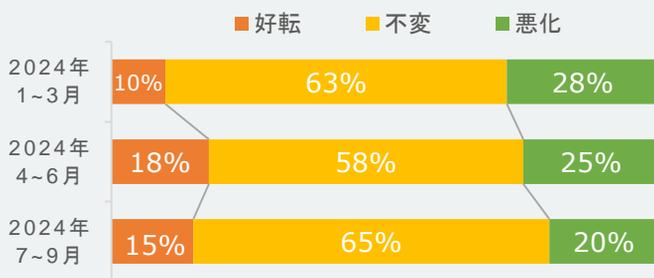
川崎商工会議所 中小企業景況調査 2024年4～6月期 調査結果

●調査対象 川崎商工会議所会員 80事業所 ●調査時期 2024年5月21日～6月1日

1 業況について

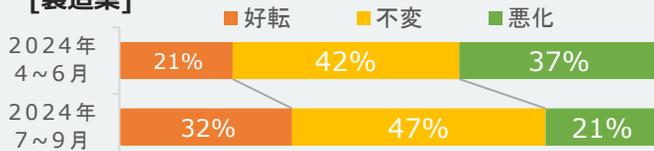
◆今期(4～6月)は好転が微増し、不変・悪化が微減となった。建設業では好転が約4割となった一方で卸売業は0割、サービス業は1割に満たず、依然として原材料等の価格上昇や需要の停滞の影響が続いていることが窺える。

◆来期(7～9月)の予測では、悪化が減少傾向となったが、小売業においては物価上昇を受け、悪化予測が増加している。また、製造業以外の業種では好転予測が減少となっており、多くの業種で慎重な見方となっている。

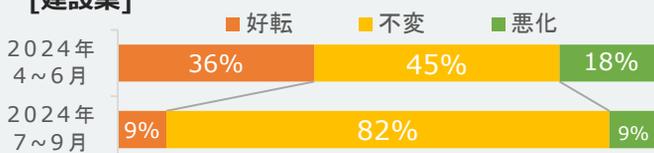


■ 業種別

[製造業]



[建設業]



[卸売業]



[小売業]



[サービス業]



2 設備投資について

[今期(2024年4月～6月)]

実施した：10% 実施していない：90%

<実施内容>

設備	OA機器	設備	車両・運搬具	福利厚生	その他
50%	13%	13%	13%	13%	13%

[来期(2024年7月～9月)]

計画している：7.5% 計画していない：92.5%

<計画内容>

設備	OA機器	設備	車両・運搬具
50%	33%	17%	

3 経営上の問題点 [複数回答]

- ◆前期に引き続き、原材料価格(仕入単価)の上昇がほとんどの業種において1位となっているほか、需要の停滞についても懸念している業種が多い。
- ◆建設業では従業員の確保難、小売業・サービス業では人件費の増加も挙げられており、引き続き雇用面に大きな課題がある。

[製造業]

1位	需要の停滞	42%
2位	・原材料価格の上昇 ・原材料費・人件費以外の経費の増加	37%
3位	製品(加工)単価の低下・上昇難	26%

[建設業]

1位	材料価格の上昇	45%
2位	従業員の確保難	36%
3位	・原材料費・人件費以外の経費の増加 ・熟練技術者の確保難	27%

[卸売業]

1位	仕入単価の上昇	78%
2位	需要の停滞	33%
3位	・人件費以外の経費の増加 ・販売単価の低下・上昇難 ・その他	22%

[小売業]

1位	・消費者ニーズの変化への対応 ・仕入単価の上昇	48%
2位	需要の停滞	43%
3位	人件費の増加	26%

[サービス業]

1位	材料等仕入単価の上昇	50%
2位	人件費の増加	33%
3位	・新規参入業者の増加・店舗施設の狭小・老朽化 ・人件費以外の経費の増加・利用料金の低下・上昇難 ・従業員の確保難・需要の停滞	22%